

分会ニュース

No. 18

発行責任者 多田 一夫

発行編集者 教宣部

パワーハラスメントの次は、嫌がらせを行う日笠首席！！

2月12日、大阪第二車両所日笠首席はJ R 東海労組合員を呼び出し、主任レポートを「特になし」で書いて提出しているにもかかわらず、日笠首席は「あなたは真面目に仕事をする気がないのですね」と言い放った。何を根拠に言うのでしょうか？ [主任レポートに関する管理者用のQ & Aでも「特になし」を認めています]

日笠首席は、一人の社員を狙い撃ちし、真面目に作業を行っている組合員がミスを犯すように恫喝や嫌がらせを行っています。管理者としてあるまじき行為であり、絶対に許すわけにはいきません。

J R 東海労関西地本と関西支社とのやり取りの中でも支社は「特になし」を認めています。現場では「特になし」ではいけないのでしょうか。2月はじめの総点呼で所長が「報告の義務について、一部の社員による好ましくない例が散見されます。また、報告そのものを拒む事例もあります」と言っています。会社が決めたことに有無を言わせずに書かせることで「命令と服従」従順な社員化を目的にしているからです。

黙っていたら「物言えない」「マニュアル人間」「何も考えない人間」に変質させられ暗黒の職場になります。みんなで声を上げて働きやすい職場にしていきましょう。